

# 日野川水系河川整備計画原案(案)

## 【国管理区間】

## 対応方針について

平成27年6月

国 土 交 通 省

中 国 地 方 整 備 局

# 日野川河川整備懇談会の開催経緯

懇談会	開催日	内容
第1回	平成24年12月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>・設立委員会</li><li>・河川整備計画、現状と課題、意見聴取の説明</li><li>・現地視察</li></ul>
第2回	平成25年 3月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民アンケート及び説明会結果の報告</li><li>・現地視察</li></ul>
第3回 (今回)	平成27年 6月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・整備計画目標に対する対応方針案</li><li>・整備内容と手順の説明</li><li>・整備計画原案(案)の提示</li></ul>



第1回日野川河川整備懇談会



第2回日野川河川整備懇談会



第2回日野川河川整備懇談会（現地視察）

# 資料構成

資料構成は以下のとおりとなっています。

## 1. 日野川水系の概要

- ・ 流域及び河川の概要
- ・ 過去の水害と治水事業の経緯
- ・ 水利用の経緯



## 2. 現状と課題、3. 基本事項、4. 目標に関する事項、5. 実施内容

2. 日野川の現状と課題

3. 河川整備の基本事項

4. 河川整備の目標に関する事項

5. 河川整備の実施に関する事項

洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項(治水に関する事項)

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

河川環境の整備と保全に関する事項(河川環境に関する事項)

河川の維持管理に関する事項(維持管理に関する事項)



## 6. その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

- ・ 連携と協働
- ・ 情報の共有化
- ・ 社会環境の変化への対応

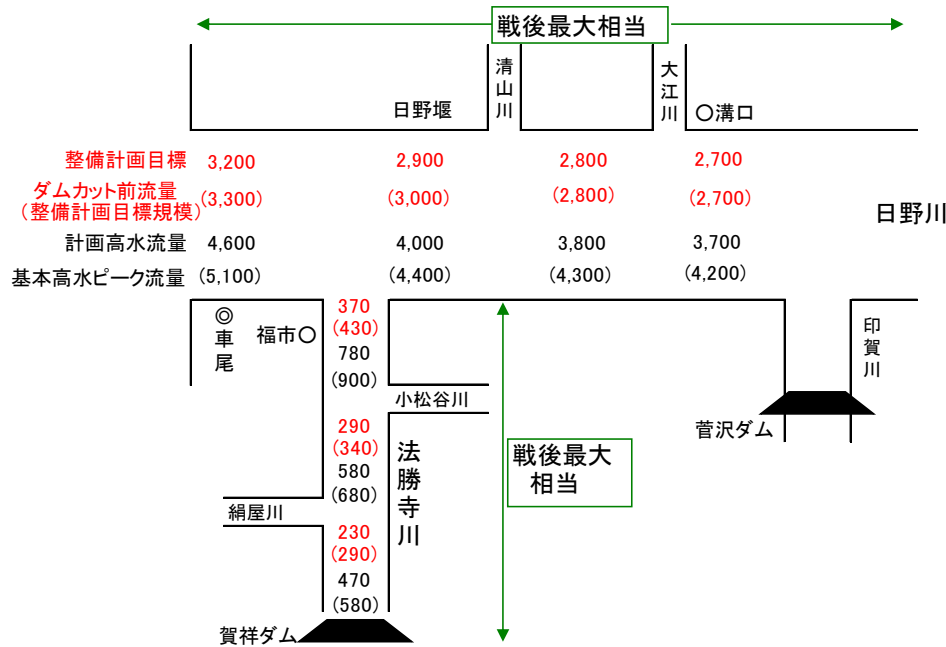
# 治水に関する目標

- 日野川水系河川整備基本方針に定めた目標に向けて、上下流及び本支川の治水安全度バランスを確保しつつ段階的かつ着実に河川整備を実施し、洪水による災害の発生防止又は軽減を図ることが重要。
- 治水目標は、日野川においては戦後最大の被害が発生した昭和20年9月洪水と同規模の降雨で発生する洪水に対して、洪水氾濫により家屋等の浸水被害の防止を図る。法勝寺川においては、戦後最大洪水である昭和34年9月洪水と同規模の洪水に対して、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ることを目標とする。

## 目標設定の背景

- ・ 日野川は下流部の低平地に人口と資産の集中する米子市街地を抱え、洪水や内水により過去幾多の甚大な被害が発生。
- ・ 流下断面の不足、堤防の高さ不足により戦後最大規模の洪水に対して一部区間で流下能力が不足。
- ・ 法勝寺川沿川では、洪水時の法勝寺川の水位が高く、法勝寺川に流入する支川の内水はん濫被害が近年においても発生。

## 流量配分図



## 整備計画の対象期間

- ・ 概ね30年とする

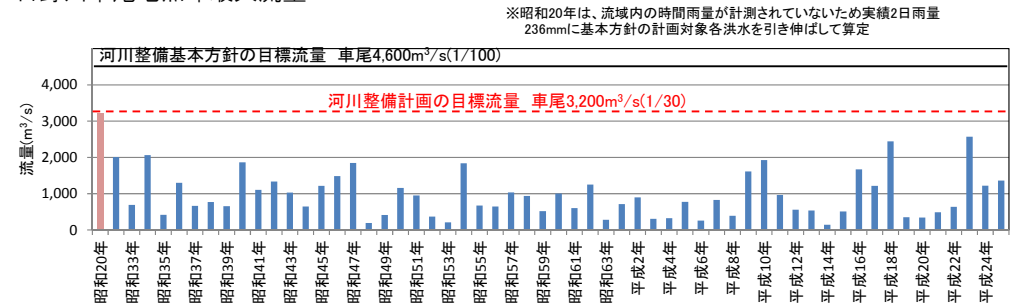
## 整備目標

- ・ 長期的な治水目標である河川整備基本方針で定めた目標達成するためには、多大な時間と費用を必要とすることから、本計画においては、上下流バランスを図りつつ段階的に河川整備を実施することとする。
- ・ 整備後の治水安全度は、日野川が概ね1/30(雨量確率)、法勝寺川が概ね1/10(雨量確率)となる。

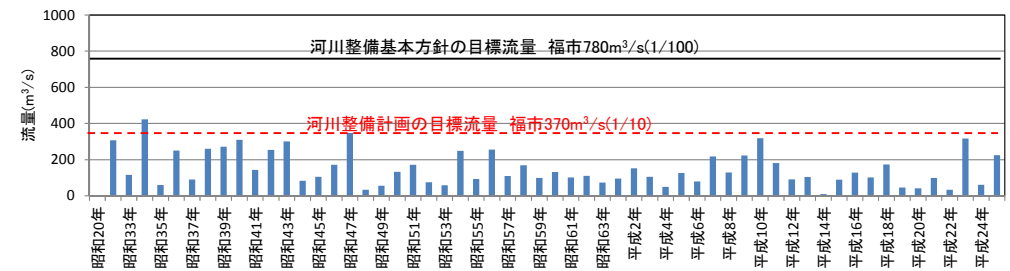
## 【洪水対策】

- ・ 日野川においては、戦後最大の被害が発生した昭和20年9月洪水と同規模の降雨で発生する洪水に対して、洪水氾濫により家屋等の浸水被害の防止を図る。
- ・ 法勝寺川においては、戦後最大洪水である昭和34年9月洪水と同規模の洪水に対して、洪水氾濫による浸水被害の防止を図る。

## 日野川車尾地点年最大流量



## 法勝寺川福市地点年最大流量



※ダム戻し、氾濫戻し流量で記載

# 治水に関する対応方針

■日野川の流下能力確保に対する課題を踏まえ、治水対策案を検討する。

## 整備計画河道の考え方

### <日野川の現状と整備の方向性>

- 無堤区間、暫定堤区間、固定堰、河道内の土砂堆積および樹木の繁茂等の影響により、日野川中流地区、法勝寺川において流下能力が不足している。
- 法勝寺川沿川において内水氾濫が頻発している。
- 洪水調節容量が不足している。

⇒河積の確保、築堤(断面確保)により流下能力を確保する。

⇒内水被害軽減のための支川処理等の対策を行う。

⇒既存ダムの有効活用等により調節容量を確保する。

### <整備メニューごとの対応方針>



流出抑制		河川整備	
貯留施設(ダム)	流域対策	堤防整備	河道改修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅沢ダムの有効活用を実施</li> <li>→河道分担流量低減策として、利水容量転用+洪水調節方式の変更を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる河道分担流量の低減が可能か、日野川への適用性を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全川で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削(堰改築・堰継足し含む)</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木伐採(河道掘削に含む)</li> </ul>

- ・対策案は、日野川流域の現状を踏まえ、実現可能性のある案を抽出  
評価項目：安全度、コスト、実現性、持続性、柔軟性、地域社会への影響、環境への影響
- ・流出抑制については、菅沢ダムの有効活用に加え、流域対策の適用性について検討
- ・河川整備については、堤防整備に加え、河道改修メニューについて検討



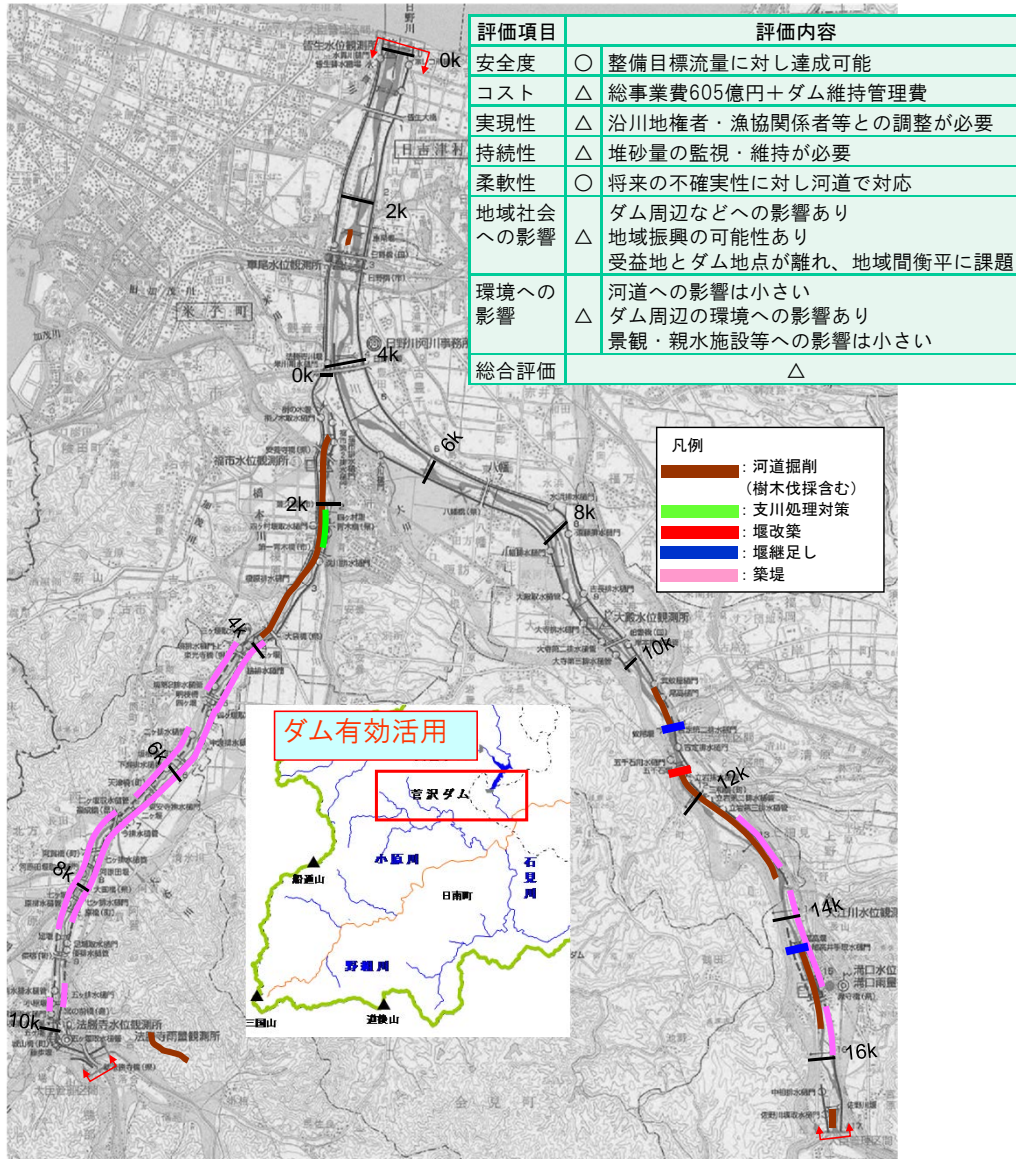
# 治水に関する対応方針

■ 7つの評価項目を比較検討した結果、河川整備案はコストが安価であり、地域社会への影響なども比較的小さいことから、河川整備計画での治水対策案として抽出する。

## 対策案の概要および評価

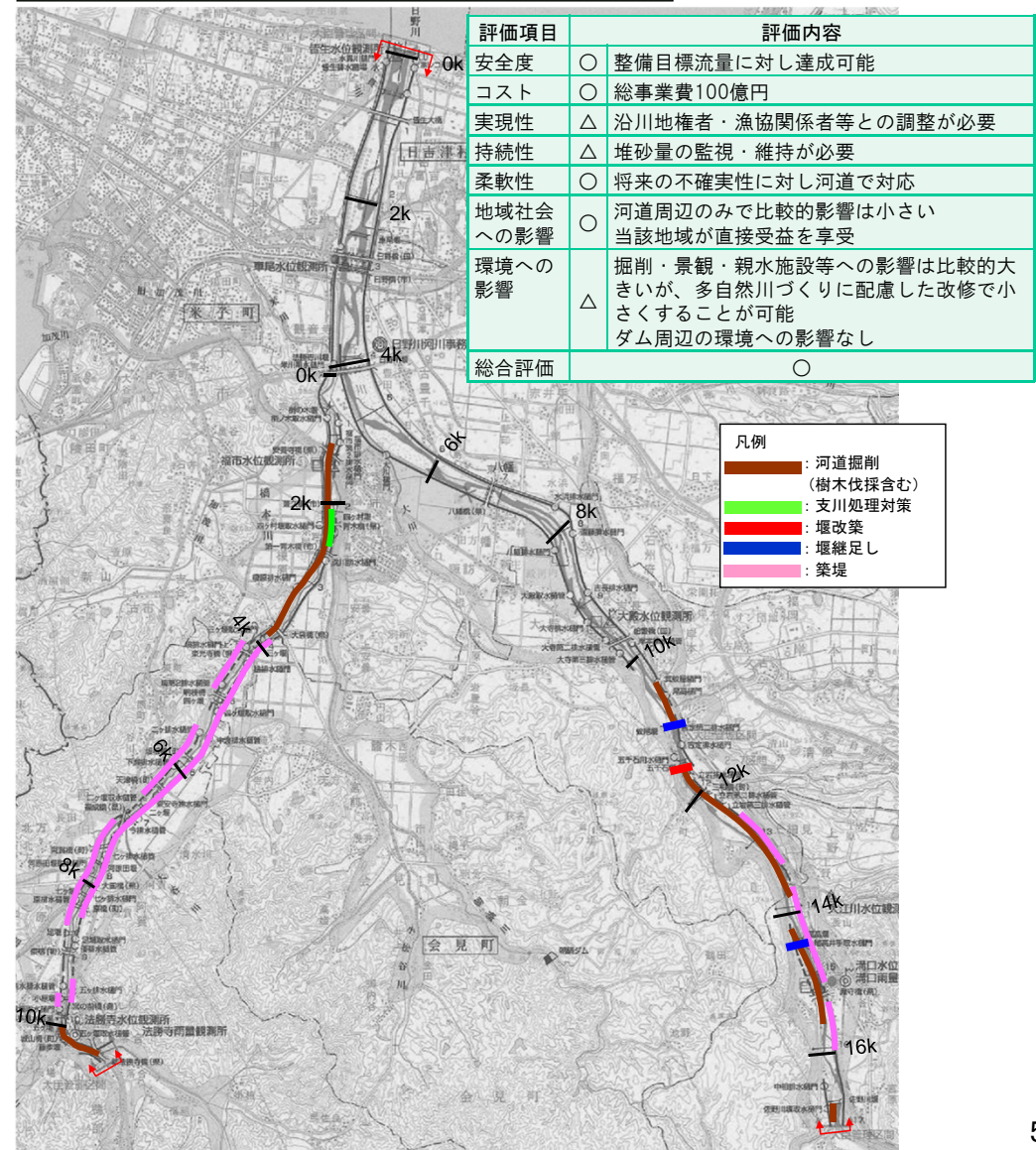
### ダム活用案

ダム有効活用＋河道掘削(堰改築・堰継足し築堤含む)＋樹木伐採



### 河川整備案

河道掘削(堰改築・堰継足し・築堤含む)＋樹木伐採



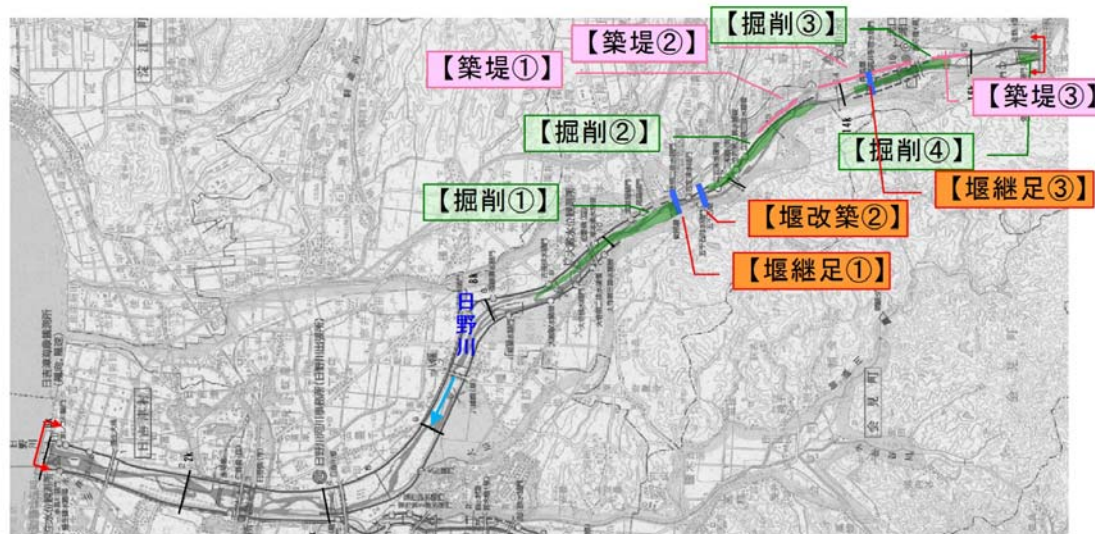


# 治水に関する整備内容

## 実施箇所と整備内容

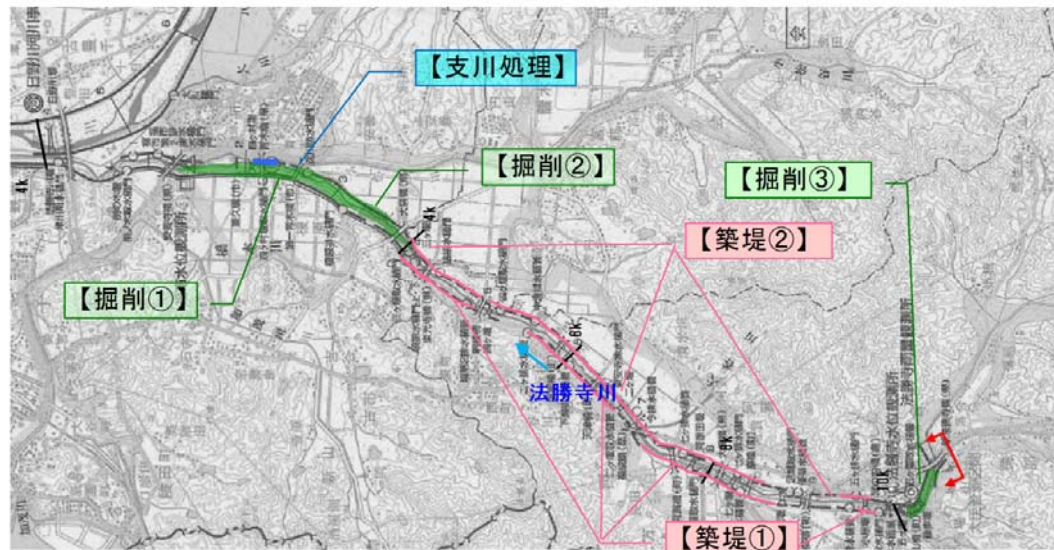
### ■日野川

河川	整備内容	地区名	区間	位置図番号
日野川	築堤(断面確保)	立岩	12.8k~13.6k (右岸)	【築堤①】
		溝口	13.8k~15.2k (右岸)	【築堤②】
		溝口	15.6k~16.0k (右岸)	【築堤③】
	河道掘削	大寺・岸本	8.6k~11.0k	【掘削①】
		岸本・立岩・小町	11.6k~13.8k	【掘削②】
		溝口・宇代	14.2k~15.6k	【掘削③】
		溝口・中祖	16.8k~17.0k	【掘削④】
	堰改築・継足し	大寺・岸本	11.1k (蚊屋堰継足し)	【堰継足①】
			11.5k (五千石堰改築)	【堰改築②】
宇代・溝口		14.5k (尾高堰継足し)	【堰継足③】	



### ■法勝寺川

河川	整備内容	地区名	区間	位置図番号
法勝寺川	築堤(断面確保)	原	4.0k ~ 5.0k (左岸)	【築堤①】
			5.6k ~ 6.8k (左岸)	
			7.4k ~ 8.8k (左岸)	
		9.8k (左岸)		
	法勝寺	4.0k ~ 5.0k (右岸)	【築堤②】	
		5.0k ~ 8.6k (右岸)		
		9.6k ~ 9.8k (右岸)		
河道掘削	青木・榎原	0.8k ~ 3.6k	【掘削①】	
	法勝寺・榎原	3.6k ~ 4.0k	【掘削②】	
	法勝寺・原	10.0k ~ 10.8k	【掘削③】	
支川処理対策	青木	2.2k ~ 2.6k	【支川処理】	



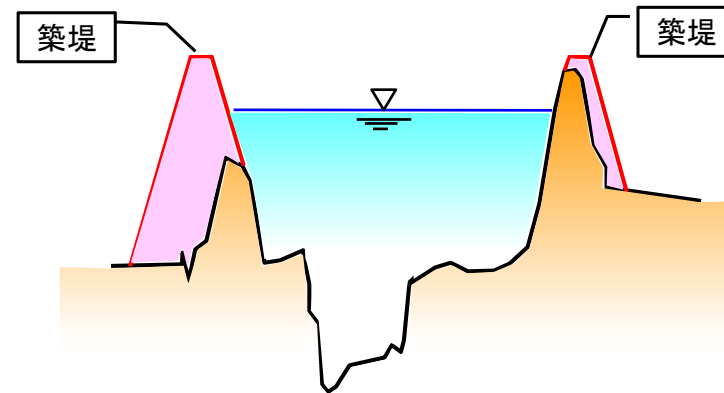
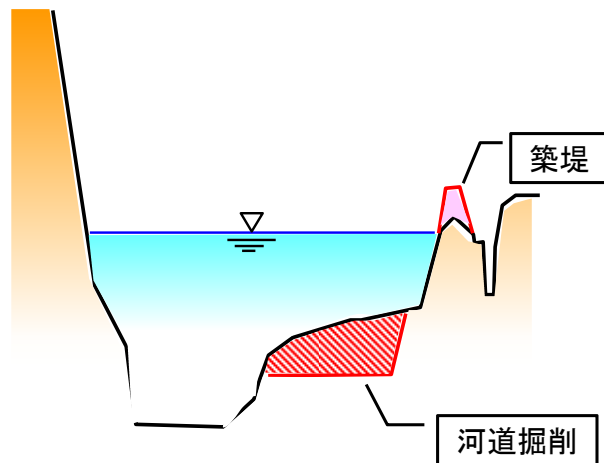
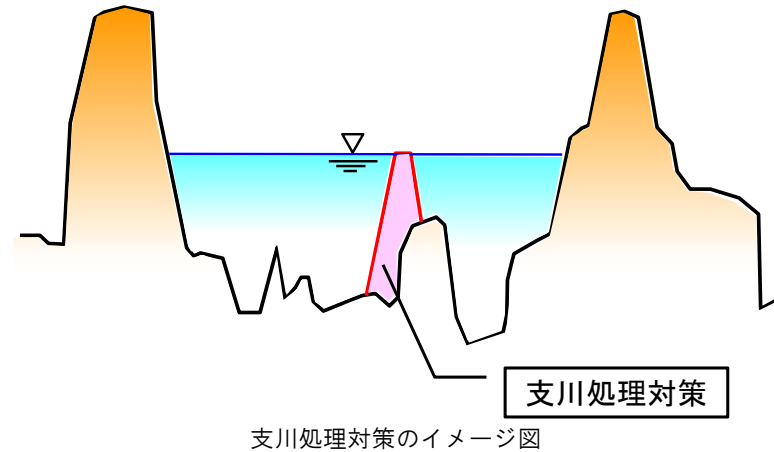
# 治水に関する整備内容（整備メニューの考え方）

## 築堤、河道掘削等

- 築堤については、堤防の高さや幅が不足している区間の整備を実施する。  
また、流下能力が不足する箇所では、流下能力確保のための掘削、堰改築等を実施する。
- 上流で実施する河道掘削等による流下能力の向上を踏まえ、下流にある市街地の災害リスクをできる限り小さくする観点から河道掘削を実施する。
- 築堤を実施する区間のうち、堤防詳細点検により浸透に対して安全性が不足する箇所については、堤防の浸透対策を行う。

## 支川処理対策

- 支川の水位を低下させるため、背割堤を整備する。



築堤、河道掘削等のイメージ図





# 水利用及び河川環境に関する目標と実施内容

## 水利用に関する目標

【利水】ふるさとの川の恵みと豊かな暮らしを潤す

日野川の清浄な水による流域の生活や文化、産業活動を将来まで維持出来るよう、様々な用途に利用されている日野川の水利用の歴史や現状を踏まえ、生活・産業に必要な流量の確保に努める。

■水道用水、工業用水、農業用水等の利水の現況、動植物の保護、漁業、景観を考慮した流水の正常な機能を維持するために必要な流量の確保に努める。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量

河川名	目標流量		
	基準地点名	流量	期間
日野川	車尾	6m <sup>3</sup> /s	通年



車尾床止付近の湯水の状況  
(平成21年6月)



日野川水系水利用協議会の開催

## 河川環境に関する目標

【河川環境】豊かな自然と歴史を継承し、人と川とのふれあい・学びの場をはぐくむ

日野川を基に形成された地域住民の憩いの場としての河川空間および日野川の流れが生み出す豊かな自然と緑が織りなす良好な河川景観、清らかな水の流れの保全を図るとともに、多様な動植物が生息・生育・繁殖する日野川の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐように努める。

- 自然環境: 多様な動植物の生活史を支える環境を確保できるように治水面との調整を図りつつ良好な生息・生育・繁殖環境の保全及び創出に努める。
- 空間利用: 水辺空間とのふれあいを体験できる施策を関係機関や地域住民と連携して推進することにより、人と河川との関係の再構築に努めるとともに、自然との交流を育み、水と緑のオープン空間として快適で安全に利用できる河川空間の維持及び形成に努める。
- 景観: 日野川らしい自然景観の保全に努めるとともに、景勝地や周辺の緑、沿川の土地利用等と調和した良好な水辺景観の維持及び形成に努める。
- 水質: 関連事業や関係機関との連携・調整、地域住民との連携を図りながら、現在の良好な水質の維持を図る。



日野川下流地区の中洲・河口砂州



日野川運動公園



# 水利用及び河川環境に関する目標と実施内容

## 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する実施内容

- ・安定的、継続的な水利用を可能にするため、渇水時の情報提供、関係機関との情報伝達体制の整備・調整を図るとともに菅沢ダム容量の有効活用について調査・検討を進める。

## 人と河川の豊かなふれあいの場の確保に関する実施内容

- ・日野川水系河川環境管理基本計画(日野川水系空間管理計画)を踏まえ、良好な河川環境の保全、関係自治体や地域住民のニーズを踏まえた自然とのふれあいや環境学習、イベントやレクリエーション活動等、水辺空間とのふれあいを体験できる河川空間の確保に努める。



日野川運動公園



チューリップマラソン

## 河川景観の保全、形成に関する実施内容

- ・米子市内全域が景観計画区域となっており、河川の水辺は、人々に安らぎや潤いを与える良好な景観資源であるため、大山等の山並みと調和した水辺景観の保全・形成に努める。
- ・河道内樹木の伐採にあたっては生物の生息・生育・繁殖環境や良好な水辺景観の保全等に配慮する。

## 魚類等にすみやすい川づくりに関する実施内容

- ・魚類等の遡上・降下環境の状況を把握し、必要に応じて関係機関と連携・調整し河川の連続性の確保が図られるよう努める。

## 外来種対策に関する実施内容

- ・外来生物法に基づく陸生植物5種の生息範囲等を把握し、必要に応じて対策を実施する。

## 自然環境の整備と保全に関する実施内容

### 【日野川下流区間】

- ・中州や河口砂州は、多様な生物の生息・生育・繁殖環境となっており、河川整備を実施する際には、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した多自然川づくりに努める。

### 【日野川中流区間】

- ・瀬淵や河原、河道内の植生等、多様な環境が形成されており、河川整備を実施する際には、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した多自然川づくりに努める。

### 【法勝寺川】

- ・ミナミアカヒレタビラの生息が確認されており、河川整備を実施する際には、希少種生物の生息環境の保全に配慮した多自然川づくりに努めるとともに、必要に応じて保全対策を検討する。



# 維持管理に関する実施内容

■維持管理の目標や実施内容を設定した「河川維持管理計画」を基に、河川の状態の変化を監視、評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型維持管理体系」による維持管理の実施に努める。

## 維持管理に関する実施内容

### ■洪水、津波等による災害の発生防止又は軽減に関する事項

- ・水文・水理等観測、河川環境の基本データ等の収集・モニタリングを行う。
- ・河道内樹木の計画的な伐採や河口砂州の維持掘削を行う。
- ・樹林化抑制としてレキ河原再生、幼木処理対策を実施する。
- ・堤防、樋門・樋管・排水機場等の河川管理施設や菅沢ダム・日野川堰、水文・水理観測施設等の機能維持のための管理、許可工作物の適正管理に向けた指導を実施する。
- ・不法行為に対する監督・指導を行う。
- ・洪水予報、水防警報の発表と関係機関への伝達、地域住民等への水位情報の周知、排水ポンプ車の運用、浸水想定区域図の更新や洪水ハザードマップ作成の支援を行う。
- ・水防管理団体が行う水防への協力、防災エキスパートと協力した復旧活動、特定緊急水防活動等の地域防災活動の積極的な支援を行う。
- ・自助・共助・公助が根付く地域社会の構築に向けた支援を行う。

### ■河川環境の保全に関する事項

- ・河川環境調査(河川水辺の国勢調査)、水質調査の継続
- ・水質事故対策
- ・河川利用の場としての維持
- ・河川敷地の美化
- ・河川の安全利用
- ・環境教育の推進
- ・道路管理者との調整
- ・景観に関する施策との調整
- ・湧水への対応
- ・地域住民との連携・協働

### ■総合土砂管理

- ・上流から海岸までの総合的な土砂管理の観点から、流域が持つ土砂供給能力を最大限に引き出し、土砂移動に関する継続的なモニタリング等を実施し、その結果を検証しながら順応的な土砂管理を行う。



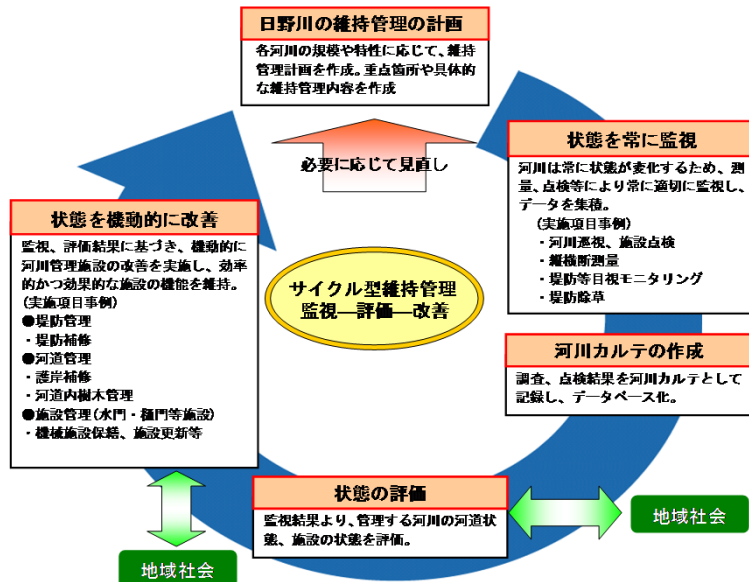
河口砂州の維持掘削



一斉清掃



河川巡視



サイクル型維持管理のイメージ